

中庸(ちゅうようよう)

中庸の意味を調べてみると、「かたよることなく、常に変わらないこと。過不足がなく調和がとれていること。また、そのさま。中正。中道。」とありました。また、「アリストテレスの徳論の中心概念。理性によつて欲望と行動を統制し、過大と過小との両極端の正しい中間に身をおくこと。」ともありました。

作者のことは

社会生活において、冷静に客観的に総合的に自分や他者、社会を見つめ、適切に判断し行動することは、中庸の考え方に通じることだと理解しました。

人間の欲望が肥大化した現代社会。他者への思いやりのない、極端な考え方や行動を見聞きすることも少なくありません。中庸の考え方の必要性がこれまで以上に高まっていると思えます。中庸の考え方をもちながら、他者、社会と関わることは、平和や平等な社会の実現にも繋がっていくのではないのでしょうか。